

創造支援(2. 2. 3) A.ブランド創出支援

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

補助者/メンバーとして対応

②複雑性

以下のいずれかを上司の指導の下で実行した実績/経験を有する。(結果への寄与度10%以上)

1. ネーミング手順を示す関連部門向けガイドラインの企画/作成を成功裡に行った。
2. ブランド戦略・商標出願戦略に従って関連部門(例: ネーミングを行う部門等)に密着し、商標の選定の適切な実施/評価を行った。
3. ブランド戦略・商標出願戦略の現状分析/改善を成功裡に行った。
4. 関連部門(例: ネーミングを行う部門等)に対して適切な先行商標情報を提供し、商標選定活動を後方から支援した。
5. ブランド戦略・商標出願戦略に従って、商標出願するか否かの適切な判定を行った(反復性を要する)。
6. 先行資料調査のために対象となるネーミングの調査内容及び範囲を適確に把握し、適切な調査手法を採用し、適切な調査判断をして、期限内に結果報告を行った(反復性を要する)。

③重要性

④社内外貢献

以下のいずれかに相当する実績/経験を有する

1. 質問に対して適切な回答/助言を行った。
2. 自己の担当業務のマニュアル化を行った。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

①事業

自己の業務の企業戦略/事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解している。

②法律

1. ブランド創出支援業務に必要な知的財産関連法律(例: 国内外の商標法, 不正競争防止法等)・法改正情報・判例の初歩的な事項(例: 入門書レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決できる。

③実務

1. ブランド創出支援に関する実務(例: 商標データベース, 審査基準, ネーミング手法)の初歩的な事項(例: 特に重要なもののみ、実務全体の20~30%程度)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決できる。

④技術

⑤語学

外国語(例: 英語)の情報(外国語データベースを含む)を最低限の範囲で(例: 50%程度)理解することができる(例: ネーミングに含まれる外国語の適切性等)。

⑥対人

1. 関係者(例: ネーミングを行う部門)から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者(例: ネーミングを行う部門)の説明(例: 調査のポイント)を正しく理解することができる。
3. 関係者(例: ネーミングを行う部門)と連携し、協働できる。
4. 関係者に分かりやすく説明できる(例: 専門用語を分かりやすく説明できる)。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

創造支援(2. 2. 3) A.ブランド創出支援

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

担当者として対応

②複雑性

以下のいずれかを上司の指導の下で(一部は自律的に)、複数回実行した実績／経験を有する。(結果への寄与度20%以上)

1. ネーミング手順を示す関連部門向けガイドラインの企画／作成を成功裡に行った。
2. ブランド戦略・商標出願戦略に従って関連部門(例: ネーミングを行う部門等)に密着し、商標の選定の適切な実施／評価を行った。
3. ブランド戦略・商標出願戦略の現状分析／改善を成功裡に行った。
4. 関連部門(例: ネーミングを行う部門等)に対して適切な先行商標情報を提供し、商標選定活動を後方から支援した。
5. ブランド戦略・商標出願戦略に従って、商標出願するか否かの適切な判定を行った(反復性を要する)。
6. 先行資料調査のために対象となるネーミングの調査内容及び範囲を適確に把握し、適切な調査手法を採用し、適切な調査判断をして、期限内に結果報告を行った(反復性を要する)。

③重要性

④社内外貢献

以下のいずれかに相当する実績と経験を有する。

1. 後輩(例: レベル1～2)に対する育成指導／助言を行った。
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 自己の担当業務のマニュアル化を行った。
4. 社内講師を担当した。
5. 社内委員会にメンバーとして参加した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

①事業

1. 自己の業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解している。
2. 担当業務に関連する基本的な自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。

②法律

1. ブランド創出支援業務に必要な知的財産関連法律(例: 国内外の商標法, 不正競争防止法等)・法改正情報・判例の基本的な事項(例: 基本書レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決でき、一部は自律的に解決できる。

③実務

1. ブランド創出支援に関する実務(例: 商標データベース, 審査基準, ネーミング手法)の基本的な事項(例: 重要なもののみ、実務全体の40～50%程度)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決でき、一部は自律的に解決できる。

④技術

⑤語学

外国語(例: 英語)の情報(外国語データベースを含む)を最低限の範囲で(例: 50%程度)理解することができる(例: ネーミングに含まれる外国語の適切性等)。

⑥対人

1. 関係者(例: ネーミングを行う部門)から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者(例: ネーミングを行う部門)の説明(例: 調査のポイント)を正しく理解することができる。
3. 関係者(例: ネーミングを行う部門)と連携し、協働できる。
4. 関係者に分かりやすく説明できる(例: 専門用語を分かりやすく説明できる)。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

創造支援(2. 2. 3) A.ブランド創出支援

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

(部分的な)主担当者として対応

②複雑性

以下のいくつかを自律的に、複数回実行した実績／経験を有する。(結果への寄与度30%以上)

1. ネーミング手順を示す関連部門向けガイドラインの企画／作成を成功裡に行った。
2. ブランド戦略・商標出願戦略に従って関連部門(例: ネーミングを行う部門等)に密着し、商標の選定の適切な実施／評価を行った。
3. ブランド戦略・商標出願戦略の現状分析／改善を成功裡に行った。
4. 関連部門(例: ネーミングを行う部門等)に対して適切な先行商標情報を提供し、商標選定活動を後方から支援した。
5. ブランド戦略・商標出願戦略に従って、商標出願するか否かの適切な判定を行った(反復性を要する)。
6. 先行資料調査のために対象となるネーミングの調査内容及び範囲を適確に把握し、適切な調査手法を採用し、適切な調査判断をして、期限内に結果報告を行った(反復性を要する)。

③重要性

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 効果が実際に確認された(例: 先行商標を発見し、それを機にネーミングを変更した)。
[必須]
2. 成果が最終的には経営層に参照されるに至った。
3. 主力製品(サービス)／特定のテーマ(将来のものを含む)について行った。

④社内外貢献

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 後輩(例: レベル2～3)に対する育成指導／助言を行った。
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 自己の担当業務のマニュアル化を行った。
4. 社内講師を担当した。
5. 社内委員会にメンバーとして参加した。
6. 社外講習会(例: 大学・企業向けセミナー・企業間勉強会等)で講師を担当した。
7. 社外委員会にメンバーとして参加した。
8. 担当業務に関して業界全体のレベル向上に資する論文を執筆した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

①事業

1. 自己の業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解しており、他者に説明することができる。
2. 担当業務に関連する主要な自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。

②法律

1. ブランド創出支援業務に必要な知的財産関連法律(例: 国内外の商標法, 不正競争防止法等)・法改正情報・判例の専門的な事項(例: 専門書／専門雑誌レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、解決することができる(他者との適切な連携を通じて解決できる場合を含む)。

③実務

1. ブランド創出支援に関する実務(例: 商標データベース, 審査基準, ネーミング手法)の専門的な事項(例: 実務全体の60～70%程度)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、解決することができる(他者との適切な連携を通じて解決できる場合を含む)。

④技術

⑤語学

外国語(例: 英語)の情報(外国語データベースを含む)を概ね(例: 60～70%程度)理解することができる(例: ネーミングに含まれる外国語の適切性等)。

⑥対人

1. 関係者(例: ネーミングを行う部門)から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者(例: ネーミングを行う部門)の説明(例: 調査のポイント)を正しく理解することができる。
3. 関係者(例: ネーミングを行う部門)と連携し、協働できる。
4. 関係者に分かりやすく説明できる(例: 専門用語を分かりやすく説明できる)。
5. 関係者(例: ネーミングを行う部門)を納得させることができる。
6. 関係者(例: ネーミングを行う部門)から信頼される。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

創造支援(2. 2. 3) A.ブランド創出支援

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

指導者兼主担当者として対応

②複雑性

以下のいくつかを主導的に、複数回実行した実績／経験を有する。(結果への寄与度40%以上)

1. ネーミング手順を示す関連部門向けガイドラインの企画／作成を成功裡に行った。
2. ブランド戦略・商標出願戦略に従って関連部門(例:ネーミングを行う部門等)に密着し、商標の選定の適切な実施／評価を行った。
3. ブランド戦略・商標出願戦略の現状分析／改善を成功裡に行った。
4. 関連部門(例:ネーミングを行う部門等)に対して適切な先行商標情報を提供し、商標選定活動を後方から支援した。
5. ブランド戦略・商標出願戦略に従って、商標出願するか否かの適切な判定を行った(反復性を要する)。
6. 先行資料調査のために対象となるネーミングの調査内容及び範囲を適確に把握し、適切な調査手法を採用し、適切な調査判断をして、期限内に結果報告を行った(反復性を要する)。

③重要性

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 複数の効果が実際に確認された(例:先行商標を発見し、それを機にネーミングを変更した)。**[必須]**
2. 成果が最終的には経営層に参照されるに至った。
3. 主力製品(サービス)／特定のテーマ(将来のものを含む)について行った。

④社内外貢献

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 後輩(例:レベル3～4)に対する育成指導／助言を行った。**[必須]**
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 自己の担当業務分掌のマニュアル化を推進した。
4. 社内講師を担当した。
5. 社内委員会を主導した。
6. 社外講習会(例:大学・企業向けセミナー・企業間勉強会等)で講師を担当した。
7. 社外委員会に会社代表として参加した。
8. 担当業務に関して業界全体のレベル向上に資する論文を執筆した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

①事業

1. 自己の所掌業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解しており、他者に説明することができる。
2. 所掌業務に関連する自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。
3. 所掌業務の経営・事業に与える影響(リスク)を自ら予測・分析し、客観的に説明できる。

②法律

1. ブランド創出支援業務に必要な知的財産関連法律(例:国内外の商標法, 不正競争防止法等)・法改正情報・判例の専門的な事項(例:専門書／専門雑誌レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題の発見と解決を主導し、下位のレベル者に対して指導ができる。

③実務

1. ブランド創出支援に関する実務(例:商標データベース, 審査基準, ネーミング手法)の専門的な事項(例:実務全体の80%程度)を理解し、過去に類例のないケースにも応用／展開することができる。
2. 前記に関連する業務上の課題の発見と解決を主導し、下位のレベル者に対して指導ができる。

④技術

⑤語学

外国語(例:英語)の情報(外国語データベースを含む)を正しく(例:80%程度)理解することができる(例:ネーミングに含まれる外国語の適切性等)。

⑥対人

1. 関係者(例:ネーミングを行う部門)から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者(例:ネーミングを行う部門)の説明(例:調査のポイント)を正しく理解することができる。
3. 関係者(例:ネーミングを行う部門)と連携し、協働できる。
4. 関係者に分かりやすく説明できる(例:専門用語を分かりやすく説明できる)。
5. 関係者(例:ネーミングを行う部門)を納得させることができる。
6. 関係者(例:ネーミングを行う部門)から信頼される。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

創造支援(2. 2. 3) A.ブランド創出支援

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

総括責任者として対応

②複雑性

以下のいくつかに関する経営上の課題について、多角的な視点で様々な解決策の提案を複数回行った実績／経験を有する。(結果への寄与度50%以上)

1. ネーミング手順を示す関連部門向けガイドラインの企画／作成を成功裡に行った。
2. ブランド戦略・商標出願戦略に従って関連部門(例: ネーミングを行う部門等)に密着し、商標の選定の適切な実施／評価を行った。
3. ブランド戦略・商標出願戦略の現状分析／改善を成功裡に行った。
4. 関連部門(例: ネーミングを行う部門等)に対して適切な先行商標情報を提供し、商標選定活動を後方から支援した。
5. ブランド戦略・商標出願戦略に従って、商標出願するか否かの適切な判定を行った(反復性を要する)。
6. 先行資料調査のために対象となるネーミングの調査内容及び範囲を適確に把握し、適切な調査手法を採用し、適切な調査判断をして、期限内に結果報告を行った(反復性を要する)。

③重要性

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 複数の経営に資する効果が実際に確認された(例: 先行商標を発見し、それを機にネーミングを変更した)。**[必須]**
2. 成果が最終的には経営層に参照されるに至った。
3. 主力製品(サービス)／特定のテーマ(将来のものを含む)について行った。

④社内外貢献

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 後輩(例: レベル4～5)に対する育成指導／助言を行った。**[必須]**
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 社内講師を担当した。
4. 社内委員会を主導した。
5. 社外講習会(例: 大学・企業向けセミナー・企業間勉強会等)で講師を担当した。
6. 社外委員会に主査的立場で参加した。
7. 担当業務に関して業界全体のレベル向上に資する論文を執筆した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

①事業

1. 自己の所掌業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解しており、他者に説明することができる。
2. 所掌業務に関連する自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。
3. 所掌業務の経営・事業に与える影響(リスク)を自ら予測・分析し、客観的に説明できる。
4. 所掌業務の経営上の課題を発見し、あるいはその課題に対して多角的な視点で様々な解決策の提案ができる。

②法律

1. ブランド創出支援業務に必要な知的財産関連法律(例: 国内外の商標法, 不正競争防止法等)・法改正情報・判例の専門的な事項(例: 専門書／専門雑誌レベル)又は広範かつ統合的な事項(例: 専門性は必ずしも深くないが幅広い理解力があり全体を俯瞰することができるレベル)を理解している。
2. 前記に関連する経営上の課題を発見し、あるいはその課題に対して多角的な視点で様々な解決策の提案ができる。

③実務

1. ブランド創出支援に関する実務(例: 商標データベース, 審査基準, ネーミング手法)の高度に専門的な事項(例: 実務全体の90%程度)又は広範かつ統合的な事項(例: 専門性は必ずしも深くないが幅広い理解力があり全体を俯瞰することができるレベル)を理解し、過去に類例のないケースにも応用／展開することができる。
2. 前記に関連する経営上の課題を発見し、あるいはその課題に対して多角的な視点で様々な解決策の提案ができる。

④技術

⑤語学

外国語(例: 英語)の情報(外国語データベースを含む)を正しくかつ迅速に(例: 90%程度)理解することができる(例: ネーミングに含まれる外国語の適切性等)。

⑥対人

1. 関係者(例: ネーミングを行う部門)から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者(例: ネーミングを行う部門)の説明(例: 調査のポイント)を正しく理解することができる。
3. 関係者(例: ネーミングを行う部門)と連携し、協働できる。
4. 関係者に分かりやすく説明できる(例: 専門用語を分かりやすく説明できる)。
5. 関係者(例: ネーミングを行う部門)を納得させることができる。
6. 関係者(例: ネーミングを行う部門)から信頼される。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

創造支援(2. 2. 3) B.発明支援

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

補助者/メンバーとして対応

②複雑性

以下のいずれかを上司の指導の下で実行した実績/経験を有する。(結果への寄与度10%以上)

1. 特定の研究・開発テーマについて、特許出願戦略(例: 特定の分野における特許群の形成方針, ノウハウ保護戦略)の立案を成功裡に行った。
2. 特許出願戦略に従って、技術部門に密着して必要な発明の発掘(創出を含む)の企画/実施(発明者の確定作業も含む)/評価を成功裡に行った(反復性を要する)。
3. 特許出願戦略に従って、事案が複雑な発明発掘(創出を含む)/抽出会議(例: コア技術の明確化と周辺技術の顕在化)を行った。
4. 特許出願戦略に対する現状分析/改善を成功裡に行った。
5. 研究・開発部門に対して特定の研究テーマに沿った適切な先行技術情報を提供し、研究・開発活動を後方から支援した。
6. 特許出願戦略に従って、発明を営業秘密として管理するか否か/出願するか否かの適切な判定を行った(反復性を要する)。

③重要性

④社内外貢献

以下のいずれかに相当する実績/経験を有する。

1. 質問に対して適切な回答/助言を行った。
2. 自己の担当業務のマニュアル化を行った。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

①事業

自己の業務の企業戦略/事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解している。

②法律

1. 発明支援業務に必要な知的財産関連法律(例: 国内外の特許法, 独占禁止法)・法改正情報・判例の初歩的な事項(例: 入門書レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決できる。

③実務

1. 発明支援に関する実務(例: 審査基準, 営業秘密, ポートフォリオ, 創造技法)の初歩的な事項(例: 特に重要なもののみ、実務全体の20~30%程度)を理解している(例: 他社明細書の造語による上位概念クレームも理解できる)。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決できる。

④技術

発明支援関連業務に必要な技術(例: 担当技術分野の最先端技術・学術文献・学会動向、他社特許)の初歩的な事項を理解することができる(例: 担当分野においては発明者と対等に議論ができる)。

⑤語学

外国語の情報(外国語データベースを含む)を最低限の範囲で(例: 50%程度)理解することができる。

⑥対人

1. 関係者(例: 発明部門)から円滑に情報収集ができる(例: 発明者の意図を引き出せる)。
2. 関係者(例: 発明部門)の説明(例: 調査のポイント)を正しく理解することができる。
3. 関係者(例: 発明部門)と連携し、協働できる。
4. 関係者に分かりやすく説明できる(例: 専門用語を分かりやすく説明できる)。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

創造支援(2. 2. 3) B.発明支援

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

担当者として対応

②複雑性

以下のいずれかを上司の指導の下で(一部は自律的に)、複数回実行した実績／経験を有する。(結果への寄与度20%以上)

1. 特定の研究・開発テーマについて、特許出願戦略(例:特定の分野における特許群の形成方針、ノウハウ保護戦略)の立案を成功裡に行った。
2. 特許出願戦略に従って、技術部門に密着して必要な発明の発掘(創出を含む)の企画／実施(発明者の確定作業も含む)／評価を成功裡に行った(反復性を要する)。
3. 特許出願戦略に従って、事案が複雑な発明発掘(創出を含む)／抽出会議(例:コア技術の明確化と周辺技術の顕在化)を行った。
4. 特許出願戦略に対する現状分析／改善を成功裡に行った。
5. 研究・開発部門に対して特定の研究テーマに沿った適切な先行技術情報を提供し、研究・開発活動を後方から支援した。
6. 特許出願戦略に従って、発明を営業秘密として管理するか否か／出願するか否かの適切な判定を行った(反復性を要する)。

③重要性

④社内外貢献

以下のいずれかに相当する実績と経験を有する。

1. 後輩(例:レベル1～2)に対する育成指導／助言を行った。
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 自己の担当業務のマニュアル化を行った。
4. 社内講師を担当した。
5. 社内委員会にメンバーとして参加した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

①事業

1. 自己の業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解している。
2. 担当業務に関連する基本的な自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。

②法律

1. 発明支援業務に必要な知的財産関連法律(例:国内外の特許法、独占禁止法)・法改正情報・判例の基本的な事項(例:基本書レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決でき、一部は自律的に解決できる。

③実務

1. 発明支援に関する実務(例:審査基準、営業秘密、ポートフォリオ、創造技法)の基本的な事項(例:重要なもののみ、実務全体の40～50%程度)を理解している(例:他社明細書の造語による上位概念クレームも理解できる)。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決でき、一部は自律的に解決できる。

④技術

発明支援関連業務に必要な技術(例:担当技術分野の最先端技術・学術文献・学会動向、他社特許)の基本的な事項を理解することができる(例:担当分野においては発明者と対等に議論ができる)。

⑤語学

外国語の情報(外国語データベースを含む)を最低限の範囲で(例:50%程度)理解することができる。

⑥対人

1. 関係者(例:発明部門)から円滑に情報収集ができる(例:発明者の意図を引き出せる)。
2. 関係者(例:発明部門)の説明(例:調査のポイント)を正しく理解することができる。
3. 関係者(例:発明部門)と連携し、協働できる。
4. 関係者に分かりやすく説明できる(例:専門用語を分かりやすく説明できる)。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

創造支援(2.2.3) B.発明支援

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

(部分的な)主担当者として対応

②複雑性

以下のいくつかを自律的に、複数回実行した実績／経験を有する。(結果への寄与度30%以上)

1. 特定の研究・開発テーマについて、特許出願戦略(例: 特定分野における特許群の形成方針、ノウハウ保護戦略)の立案を成功裡に行った。
2. 特許出願戦略に従って、技術部門に密着して必要な発明の発掘(創出を含む)の企画／実施(発明者の確定作業も含む)／評価を成功裡に行った(反復性を要する)。
3. 特許出願戦略に従って、事案が複雑な発明発掘(創出を含む)／抽出会議(例: コア技術の明確化と周辺技術の顕在化)を行った。
4. 特許出願戦略に対する現状分析／改善を成功裡に行った。
5. 研究・開発部門に対して特定の研究テーマに沿った適切な先行技術情報を提供し、研究・開発活動を後方から支援した。
6. 特許出願戦略に従って、発明を営業秘密として管理するか否か／出願するか否かの適切な判定を行った(反復性を要する)。

③重要性

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 効果が実際に確認された(例: 立案した特許出願戦略が採用され実行された、全社的に重要なプロジェクトで創造支援し、その特許群により競合他社の模倣防止やライセンス等の成果を挙げた、研究源流段階のテーマの重要性を発見し、その特許群により後に競合他社の模倣防止やライセンス等の成果を挙げた、技術動向をウォッチしそれに見合うようなクレームを形成し自社の事業成長に貢献した)。[必須]
2. 成果が最終的には経営層に参照されるに至った。
3. 主力製品(サービス)／特定のテーマ(将来のものを含む)について行った。

④社内外貢献

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 後輩(例: レベル2～3)に対する育成指導／助言を行った。
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 自己の担当業務のマニュアル化を行った。
4. 社内講師を担当した。
5. 社内委員会にメンバーとして参加した。
6. 社外講習会(例: 大学・企業向けセミナー・企業間勉強会等)で講師を担当した。
7. 社外委員会にメンバーとして参加した。
8. 担当業務に関して業界全体のレベル向上に資する論文を執筆した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

①事業

1. 自己の業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解しており、他者に説明することができる。
2. 担当業務に関連する主要な自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。

②法律

1. 発明支援業務に必要な知的財産関連法律(例: 国内外の特許法、独占禁止法)・法改正情報・判例の専門的な事項(例: 専門書／専門雑誌レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、解決することができる(他者との適切な連携を通じて解決できる場合を含む)。

③実務

1. 発明支援に関する実務(例: 審査基準、営業秘密、ポートフォリオ、創造技法)の専門的な事項(例: 実務全体の60～70%程度)を理解している(例: 他社明細書の造語による上位概念クレームも理解できる)。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、解決することができる(他者との適切な連携を通じて解決できる場合を含む)。

④技術

発明支援関連業務に必要な技術(例: 担当技術分野の最先端技術・学術文献・学会動向、他社特許)の専門的な事項を理解することができる(例: 担当分野においては発明者と対等に議論ができる)。

⑤語学

外国語の情報(外国語データベースを含む)を概ね(例: 60～70%程度)理解することができる。

⑥対人

1. 関係者(例: 発明部門)から円滑に情報収集ができる(例: 発明者の意図を引き出せる)。
2. 関係者(例: 発明部門)の説明(例: 調査のポイント)を正しく理解することができる。
3. 関係者(例: 発明部門)と連携し、協働できる。
4. 関係者に分かりやすく説明できる(例: 専門用語を分かりやすく説明できる)。
5. 関係者(例: 発明部門)を納得させることができる。
6. 関係者(例: 発明部門)から信頼される。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

創造支援(2. 2. 3) B. 発明支援

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

指導者兼主担当者として対応

②複雑性

以下のいくつかを主導的に、複数回実行した実績／経験を有する。(結果への寄与度40%以上)

1. 特定の研究・開発テーマについて、特許出願戦略(例: 特定の分野における特許群の形成方針、ノウハウ保護戦略)の立案を成功裡に行った。
2. 特許出願戦略に従って、技術部門に密着して必要な発明の発掘(創出を含む)の企画／実施(発明者の確定作業も含む)／評価を成功裡に行った(反復性を要する)。
3. 特許出願戦略に従って、事案が複雑な発明発掘(創出を含む)／抽出会議(例: コア技術の明確化と周辺技術の顕在化)を行った。
4. 特許出願戦略に対する現状分析／改善を成功裡に行った。
5. 研究・開発部門に対して特定の研究テーマに沿った適切な先行技術情報を提供し、研究・開発活動を後方から支援した。
6. 特許出願戦略に従って、発明を営業秘密として管理するか否か／出願するか否かの適切な判定を行った(反復性を要する)。

③重要性

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 複数の効果が実際に確認された(例: 立案した特許出願戦略が採用され実行された、全社的に重要なプロジェクトで創造支援し、その特許群により競合他社の模倣防止やライセンス等の成果を挙げた、研究源流段階のテーマの重要性を発見し、その特許群により後に競合他社の模倣防止やライセンス等の成果を挙げた、技術動向をウォッチしそれに見合うようなクレームを形成し自社の事業成長に貢献した)。**[必須]**
2. 成果が最終的には経営層に参照されるに至った。
3. 主力製品(サービス)／特定のテーマ(将来のものを含む)について行った。

④社内外貢献

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 後輩(例: レベル3～4)に対する育成指導／助言を行った。**[必須]**
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 自己の担当業務分掌のマニュアル化を推進した。
4. 社内講師を担当した。
5. 社内委員会を主導した。
6. 社外講習会(例: 大学・企業向けセミナー・企業間勉強会等)で講師を担当した。
7. 社外委員会に会社代表として参加した。
8. 担当業務に関して業界全体のレベル向上に資する論文を執筆した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

①事業

1. 自己の所掌業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解しており、他者に説明することができる。
2. 所掌業務に関連する自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。
3. 所掌業務の経営・事業に与える影響(リスク)を自ら予測・分析し、客観的に説明できる。

②法律

1. 発明支援業務に必要な知的財産関連法律(例: 国内外の特許法、独占禁止法)・法改正情報・判例の専門的な事項(例: 専門書／専門雑誌レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題の発見と解決を主導し、下位のレベル者に対して指導ができる。

③実務

1. 発明支援に関する実務(例: 審査基準、営業秘密、ポートフォリオ、創造技法)の専門的な事項(例: 実務全体の80%程度)を理解し、過去に類例のないケースにも応用／展開することができる(例: 他社明細書の造語による上位概念クレームも理解できる)。
2. 前記に関連する業務上の課題の発見と解決を主導し、下位のレベル者に対して指導ができる。

④技術

発明支援関連業務に必要な技術(例: 担当技術分野の最先端技術・学術文献・学会動向、他社特許)の専門的な事項を理解し、過去に類例のないケースにも応用／展開することができる(例: 担当分野においては発明者と対等に議論ができる)。

⑤語学

外国語の情報(外国語データベースを含む)を正しく(例: 80%程度)理解することができる。

⑥対人

1. 関係者(例: 発明部門)から円滑に情報収集ができる(例: 発明者の意図を引き出せる)。
2. 関係者(例: 発明部門)の説明(例: 調査のポイント)を正しく理解することができる。
3. 関係者(例: 発明部門)と連携し、協働できる。
4. 関係者に分かりやすく説明できる(例: 専門用語を分かりやすく説明できる)。
5. 関係者(例: 発明部門)を納得させることができる。
6. 関係者(例: 発明部門)から信頼される。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

創造支援(2. 2. 3) B.発明支援

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

総括責任者として対応

②複雑性

以下のいくつかに関する経営上の課題について、多角的な視点で様々な解決策の提案を複数回行った実績／経験を有する。(結果への寄与度50%以上)

1. 特定の研究・開発テーマについて、特許出願戦略(例:特定分野における特許群の形成方針、ノウハウ保護戦略)の立案を成功裡に行った。
2. 特許出願戦略に従って、技術部門に密着して必要な発明の発掘(創出を含む)の企画／実施(発明者の確定作業も含む)／評価を成功裡に行った(反復性を要する)。
3. 特許出願戦略に従って、事案が複雑な発明発掘(創出を含む)／抽出会議(例:コア技術の明確化と周辺技術の顕在化)を行った。
4. 特許出願戦略に対する現状分析／改善を成功裡に行った。
5. 研究・開発部門に対して特定の研究テーマに沿った適切な先行技術情報を提供し、研究・開発活動を後方から支援した。
6. 特許出願戦略に従って、発明を営業秘密として管理するか否か／出願するか否かの適切な判定を行った(反復性を要する)。

③重要性

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 複数の経営に資する効果が実際に確認された(例:立案した特許出願戦略が採用され実行された、全社的に重要なプロジェクトで創造支援し、その特許群により競合他社の模倣防止やライセンス等の成果を挙げた、研究源流段階のテーマの重要性を発見し、その特許群により後に競合他社の模倣防止やライセンス等の成果を挙げた、技術動向をウォッチしそれに見合うようなクレームを形成し自社の事業成長に貢献した)。**[必須]**
2. 成果が最終的には経営層に参照されるに至った。
3. 主力製品(サービス)／特定のテーマ(将来のものを含む)について行った。

④社内外貢献

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 後輩(例:レベル4～5)に対する育成指導／助言を行った。**[必須]**
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 社内講師を担当した。
4. 社内委員会を主導した。
5. 社外講習会(例:大学・企業向けセミナー・企業間勉強会等)で講師を担当した。
6. 社外委員会に主査的立場で参加した。
7. 担当業務に関して業界全体のレベル向上に資する論文を執筆した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

①事業

1. 自己の所掌業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解しており、他者に説明することができる。
2. 所掌業務に関連する自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。
3. 所掌業務の経営・事業に与える影響(リスク)を自ら予測・分析し、客観的に説明できる。
4. 所掌業務の経営上の課題を発見し、あるいはその課題に対して多角的な視点で様々な解決策の提案ができる。

②法律

1. 発明支援業務に必要な知的財産関連法律(例:国内外の特許法、独占禁止法)・法改正情報・判例の専門的な事項(例:専門書／専門雑誌レベル)又は広範かつ統合的な事項(例:専門性は必ずしも深くないが幅広い理解力があり全体を俯瞰することができるレベル)を理解している。
2. 前記に関連する経営上の課題を発見し、あるいはその課題に対して多角的な視点で様々な解決策の提案ができる。

③実務

1. 発明支援に関する実務(例:審査基準、営業秘密、ポートフォリオ、創造技法)の高度に専門的な事項(例:実務全体の90%程度)又は広範かつ統合的な事項(例:専門性は必ずしも深くないが幅広い理解力があり全体を俯瞰することができるレベル)を理解し、過去に類例のないケースにも応用／展開することができる(例:他社明細書の造語による上位概念クレームも理解できる)。
2. 前記に関連する経営上の課題を発見し、あるいはその課題に対して多角的な視点で様々な解決策の提案ができる。

④技術

発明支援関連業務に必要な技術(例:担当技術分野の最先端技術・学術文献・学会動向、他社特許)の高度に専門的又は広範かつ統合的な事項を理解し、過去に類例のないケースにも応用／展開することができる(例:担当分野においては発明者と対等に議論ができる)。

⑤語学

外国語の情報(外国語データベースを含む)を正しくかつ迅速に(例:90%程度)理解することができる。

⑥対人

1. 関係者(例:発明部門)から円滑に情報収集ができる(例:発明者の意図を引き出せる)。
2. 関係者(例:発明部門)の説明(例:調査のポイント)を正しく理解することができる。
3. 関係者(例:発明部門)と連携し、協働できる。
4. 関係者に分かりやすく説明できる(例:専門用語を分かりやすく説明できる)。
5. 関係者(例:発明部門)を納得させることができる。
6. 関係者(例:発明部門)から信頼される。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

創造支援(2. 2. 3) C.コンテンツ創造支援

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

補助者/メンバーとして対応

②複雑性

以下のいずれかを上司の指導の下で実行した実績/経験を有する。(結果への寄与度10%以上)

1. コンテンツ開発戦略に従って、制作部門(制作者)と協働して高品質なコンテンツの企画/制作を行った。
2. コンテンツ開発戦略に対する現状分析/改善を成功裡に行った。
3. コンテンツ制作部門(制作者)からの問合せに対して、適確な回答/助言(例:マルチ展開の方法)を行った。
4. コンテンツ開発戦略に従って、特定のコンテンツを利用するか否かの適切な判定を行った。
5. 著作権管理事業者が公表しているデータベース等を利用して、権利処理が必要なコンテンツ(例:二次的著作物)の抽出を行った(反復性を要する)。
6. 著作権管理事業者の管理していない著作権及び肖像権・パブリシティ権について、権利処理(例:使用許諾)が必要な範囲を適切に判断した(例:許諾先となる芸能プロダクションの特定)。
7. 権利譲受対価・ライセンス対価の算定を行い、他者へ適切な説明(例:算定が原価レベルであるかしきい値であるか等)を行った。
8. 権利譲受対価・ライセンス対価の評価についての企画/基準作成/評価を成功裡に行った。

③重要性

④社内外貢献

以下のいずれかに相当する実績/経験を有する。

1. 質問に対して適切な回答/助言を行った。
2. 自己の担当業務のマニュアル化を行った。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

①事業

自己の業務の企業戦略/事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解している。

②法律

1. コンテンツ創造支援業務に必要な知的財産関連法律(例:著作権, 肖像権, パブリシティ権)・法改正情報・判例の初歩的な事項(例:入門書レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決できる。

③実務

1. コンテンツ創造支援に関する実務(例:権利者団体との交渉窓口, 著作権管理事業者が公表しているデータベース, 対価算定)の初歩的な事項(例:特に重要なもののみ、実務全体の20~30%程度)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決できる。

④技術

⑤語学

外国語(例:英語)の情報を最低限の範囲で(例:50%程度)理解することができる。

⑥対人

1. 関係者(例:制作現場)から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者(例:制作現場)の説明を正しく理解することができる。
3. 関係者(例:制作現場)と連携し、協働できる。
4. 関係者に分かりやすく説明できる(例:専門用語を分かりやすく説明できる)。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

創造支援(2. 2. 3) C.コンテンツ創造支援

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

担当者として対応

②複雑性

以下のいくつかを自律的に、複数回実行した実績／経験を有する。(結果への寄与度30%以上)

1. コンテンツ開発戦略に従って、制作部門(制作者)と協働して高品質なコンテンツの企画／制作を行った。
2. コンテンツ開発戦略に対する現状分析／改善を成功裡に行った。
3. コンテンツ制作部門(制作者)からの問合せに対して、適確な回答／助言(例:マルチ展開の方法)を行った。
4. コンテンツ開発戦略に従って、特定のコンテンツを利用するか否かの適切な判定を行った。
5. 著作権管理事業者が公表しているデータベース等を利用して、権利処理が必要なコンテンツ(例:二次的著作物)の抽出を行った(反復性を要する)。
6. 著作権管理事業者の管理していない著作権及び肖像権・パブリシティ権について、権利処理(例:使用許諾)が必要な範囲を適切に判断した(例:許諾先となる芸能プロダクションの特定)。
7. 権利譲受対価・ライセンス対価の算定を行い、他者へ適切な説明(例:算定が原価レベルであるかしきい値であるか等)を行った。
8. 権利譲受対価・ライセンス対価の評価についての企画／基準作成／評価を成功裡に行った。

③重要性

④社内外貢献

以下のいずれかに相当する実績と経験を有する。

1. 後輩(例:レベル1～2)に対する育成指導／助言を行った。
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 自己の担当業務のマニュアル化を行った。
4. 社内講師を担当した。
5. 社内委員会にメンバーとして参加した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

①事業

1. 自己の業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解している。
2. 担当業務に関連する基本的な自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。

②法律

1. コンテンツ創造支援業務に必要な知的財産関連法律(例:著作権, 肖像権, パブリシティ権)・法改正情報・判例の基本的な事項(例:基本書レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決でき、一部は自律的に解決できる。

③実務

1. コンテンツ創造支援に関する実務(例:権利者団体との交渉窓口, 著作権管理事業者が公表しているデータベース, 対価算定)の基本的な事項(例:重要なもののみ、実務全体の40～50%程度)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決でき、一部は自律的に解決できる。

④技術

⑤語学

外国語(例:英語)の情報を最低限の範囲で(例:50%程度)理解することができる。

⑥対人

1. 関係者(例:制作現場)から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者(例:制作現場)の説明を正しく理解することができる。
3. 関係者(例:制作現場)と連携し、協働できる。
4. 関係者に分かりやすく説明できる(例:専門用語を分かりやすく説明できる)。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

創造支援(2. 2. 3) C.コンテンツ創造支援

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

(部分的な)主担当者として対応

②複雑性

以下のいくつかを自立的に、複数回実行した実績／経験を有する。(結果への寄与度30%以上)

1. コンテンツ開発戦略に従って、制作部門(制作者)と協働して高品質なコンテンツの企画／制作を行った。
2. コンテンツ開発戦略に対する現状分析／改善を成功裡に行った。
3. コンテンツ制作部門(制作者)からの問合せに対して、適確な回答／助言(例: マルチ展開の方法)を行った。
4. コンテンツ開発戦略に従って、特定のコンテンツを利用するか否かの適切な判定を行った。
5. 著作権管理事業者が公表しているデータベース等を利用して、権利処理が必要なコンテンツ(例: 二次的著作物)の抽出を行った(反復性を要する)。
6. 著作権管理事業者の管理していない著作権及び肖像権・パブリシティ権について、権利処理(例: 使用許諾)が必要な範囲を適切に判断した(例: 許諾先となる芸能プロダクションの特定)。
7. 権利譲受対価・ライセンス対価の算定を行い、他者へ適切な説明(例: 算定が原価レベルであるかしきい値であるか等)を行った。
8. 権利譲受対価・ライセンス対価の評価についての企画／基準作成／評価を成功裡に行った。

③重要性

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 効果が実際に確認された(例: 権利調査を事前に行うことにより、自社コンテンツ制作の効率化に貢献できた、権利調査によって著作物の利用の範囲を広げることができた)。[必須]
2. 成果が最終的には株主に参照されるに至った。
3. 主力コンテンツについて行った。

④社内外貢献

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 後輩(例: レベル2～3)に対する育成指導／助言を行った。
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 自己の担当業務のマニュアル化を行った。
4. 社内講師を担当した。
5. 社内委員会にメンバーとして参加した。
6. 社外講習会(例: 大学・企業向けセミナー・企業間勉強会等)で講師を担当した。
7. 社外委員会にメンバーとして参加した。
8. 担当業務に関して業界全体のレベル向上に資する論文を執筆した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

①事業

1. 自己の業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解しており、他者に説明することができる。
2. 担当業務に関連する主要な自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。

②法律

1. コンテンツ創造支援業務に必要な知的財産関連法律(例: 著作権, 肖像権, パブリシティ権)・法改正情報・判例の専門的な事項(例: 専門書／専門雑誌レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、解決することができる(他者との適切な連携を通じて解決できる場合を含む)。

③実務

1. コンテンツ創造支援に関する実務(例: 権利者団体との交渉窓口, 著作権管理事業者が公表しているデータベース, 対価算定)の専門的な事項(例: 実務全体の60～70%程度)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、解決することができる(他者との適切な連携を通じて解決できる場合を含む)。

④技術

⑤語学

外国語(例: 英語)の情報を概ね(例: 60～70%程度)理解することができる。

⑥対人

1. 関係者(例: 制作現場)から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者(例: 制作現場)の説明を正しく理解することができる。
3. 関係者(例: 制作現場)と連携し、協働できる。
4. 関係者に分かりやすく説明できる(例: 専門用語を分かりやすく説明できる)。
5. 関係者(例: 制作現場)を納得させることができる。
6. 関係者(例: 制作現場)から信頼される。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

創造支援(2. 2. 3) C.コンテンツ創造支援

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

指導者兼主担当者として対応

②複雑性

以下のいくつかを主導的に、複数回実行した実績／経験を有する。(結果への寄与度40%以上)

1. コンテンツ開発戦略に従って、制作部門(制作者)と協働して高品質なコンテンツの企画／制作を行った。
2. コンテンツ開発戦略に対する現状分析／改善を成功裡に行った。
3. コンテンツ制作部門(制作者)からの問合せに対して、適確な回答／助言(例: マルチ展開の方法)を行った。
4. コンテンツ開発戦略に従って、特定のコンテンツを利用するか否かの適切な判定を行った。
5. 著作権管理事業者が公表しているデータベース等を利用して、権利処理が必要なコンテンツ(例: 二次的著作物)の抽出を行った(反復性を要する)。
6. 著作権管理事業者の管理していない著作権及び肖像権・パブリシティ権について、権利処理(例: 使用許諾)が必要な範囲を適切に判断した(例: 許諾先となる芸能プロダクションの特定)。
7. 権利譲受対価・ライセンス対価の算定を行い、他者へ適切な説明(例: 算定が原価レベルであるかしきい値であるか等)を行った。
8. 権利譲受対価・ライセンス対価の評価についての企画／基準作成／評価を成功裡に行った。

③重要性

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 複数の効果が実際に確認された(例: 権利調査を事前に行うことにより、自社コンテンツ制作の効率化に貢献できた、権利調査によって著作物の利用の範囲を広げることができた)。[必須]
2. 成果が最終的には株主に参照されるに至った。
3. 主力コンテンツについて行った。

④社内外貢献

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 後輩(例: レベル3～4)に対する育成指導／助言を行った。[必須]
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 自己の担当業務分掌のマニュアル化を推進した。
4. 社内講師を担当した。
5. 社内委員会を主導した。
6. 社外講習会(例: 大学・企業向けセミナー・企業間勉強会等)で講師を担当した。
7. 社外委員会に会社代表として参加した。
8. 担当業務に関して業界全体のレベル向上に資する論文を執筆した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

①事業

1. 自己の所掌業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解しており、他者に説明することができる。
2. 所掌業務に関連する自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。
3. 所掌業務の経営・事業に与える影響(リスク)を自ら予測・分析し、客観的に説明できる。

②法律

1. コンテンツ創造支援業務に必要な知的財産関連法律(例: 著作権, 肖像権, パブリシティ権)・法改正情報・判例の専門的な事項(例: 専門書／専門雑誌レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題の発見と解決を主導し、下位のレベル者に対して指導ができる。

③実務

1. コンテンツ創造支援に関する実務(例: 権利者団体との交渉窓口, 著作権管理事業者が公表しているデータベース, 対価算定)の専門的な事項(例: 実務全体の80%程度)を理解し、過去に類のないケースにも応用／展開することができる。
2. 前記に関連する業務上の課題の発見と解決を主導し、下位のレベル者に対して指導ができる。

④技術

⑤語学

外国語(例: 英語)の情報を正しく(例: 80%程度)理解することができる。

⑥対人

1. 関係者(例: 制作現場)から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者(例: 制作現場)の説明を正しく理解することができる。
3. 関係者(例: 制作現場)と連携し、協働できる。
4. 関係者に分かりやすく説明できる(例: 専門用語を分かりやすく説明できる)。
5. 関係者(例: 制作現場)を納得させることができる。
6. 関係者(例: 制作現場)から信頼される。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

創造支援(2. 2. 3) C.コンテンツ創造支援

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

総括責任者として対応

②複雑性

以下のいくつかに関する経営上の課題について、多角的な視点で様々な解決策の提案を複数行った実績／経験を有する。(結果への寄与度50%以上)

1. コンテンツ開発戦略に従って、制作部門(制作者)と協働して高品質なコンテンツの企画／制作を行った。
2. コンテンツ開発戦略に対する現状分析／改善を成功裡に行った。
3. コンテンツ制作部門(制作者)からの問合せに対して、適確な回答／助言(例: マルチ展開の方法)を行った。
4. コンテンツ開発戦略に従って、特定のコンテンツを利用するか否かの適切な判定を行った。
5. 著作権管理事業者が公表しているデータベース等を利用して、権利処理が必要なコンテンツ(例: 二次的著作物)の抽出を行った(反復性を要する)。
6. 著作権管理事業者の管理していない著作権及び肖像権・パブリシティ権について、権利処理(例: 使用許諾)が必要な範囲を適切に判断した(例: 許諾先となる芸能プロダクションの特定)。
7. 権利譲受対価・ライセンス対価の算定を行い、他者へ適切な説明(例: 算定が原価レベルであるかしきい値であるか等)を行った。
8. 権利譲受対価・ライセンス対価の評価についての企画／基準作成／評価を成功裡に行った。

③重要性

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 複数の経営に資する効果が実際に確認された(例: 権利調査を事前に行うことにより、自社コンテンツ制作の効率化に貢献できた、権利調査によって著作物の利用の範囲を広げることができた)。**[必須]**
2. 成果が最終的には株主に参照されるに至った。
3. 主力コンテンツについて行った。

④社内外貢献

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 後輩(例: レベル4～5)に対する育成指導／助言を行った。**[必須]**
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 社内講師を担当した。
4. 社内委員会を主導した。
5. 社外講習会(例: 大学・企業向けセミナー・企業間勉強会等)で講師を担当した。
6. 社外委員会に主査的立場で参加した。
7. 担当業務に関して業界全体のレベル向上に資する論文を執筆した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

①事業

1. 自己の所掌業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解しており、他者に説明することができる。
2. 所掌業務に関連する自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。
3. 所掌業務の経営・事業に与える影響(リスク)を自ら予測・分析し、客観的に説明できる。
4. 所掌業務の経営上の課題を発見し、あるいはその課題に対して多角的な視点で様々な解決策の提案ができる。

②法律

1. コンテンツ創造支援業務に必要な知的財産関連法律(例: 著作権, 肖像権, パブリシティ権)・法改正情報・判例の専門的な事項(例: 専門書／専門雑誌レベル)又は広範かつ統合的な事項(例: 専門性は必ずしも深くないが幅広い理解力があり全体を俯瞰することができるレベル)を理解している。
2. 前記に関連する経営上の課題を発見し、あるいはその課題に対して多角的な視点で様々な解決策の提案ができる。

③実務

1. コンテンツ創造支援に関する実務(例: 権利者団体との交渉窓口, 著作権管理事業者が公表しているデータベース, 対価算定)の高度に専門的な事項(例: 実務全体の90%程度)又は広範かつ統合的な事項(例: 専門性は必ずしも深くないが幅広い理解力があり全体を俯瞰することができるレベル)を理解し、過去に類例のないケースにも応用／展開することができる。
2. 前記に関連する経営上の課題を発見し、あるいはその課題に対して多角的な視点で様々な解決策の提案ができる。

④技術

⑤語学

外国語(例: 英語)の情報を正しくかつ迅速に(例: 90%程度)理解することができる。

⑥対人

1. 関係者(例: 制作現場)から円滑に情報収集ができる。
2. 関係者(例: 制作現場)の説明を正しく理解することができる。
3. 関係者(例: 制作現場)と連携し、協働できる。
4. 関係者に分かりやすく説明できる(例: 専門用語を分かりやすく説明できる)。
5. 関係者(例: 制作現場)を納得させることができる。
6. 関係者(例: 制作現場)から信頼される。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

創造支援(2. 2. 3) D.デザイン創造支援

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

補助者/メンバーとして対応

②複雑性

以下のいずれかを上司の指導の下で実行した実績/経験を有する。(結果への寄与度10%以上)

1. 特定のテーマについて、意匠出願戦略(例:特定の分野における意匠群の形成方針)の立案を成功裡に行った。
2. 意匠出願戦略に従って、デザイン開発部門に密着してデザイン発掘を企画/実施(創作者の確定作業も含む)/評価を成功裡に行った。
3. 意匠出願戦略に対する現状分析/改善を成功裡に行った。
4. デザイン開発部門に対して特定のテーマに沿った適切な先行意匠情報を提供し、デザイン開発活動を後方から支援した。
5. 意匠出願戦略に従って、出願をするか否かの適切な判定を行った(反復性を要する)。
6. 公知例等の先行資料調査のために対象デザインの調査内容及び範囲を把握し、適切な調査手法を採用し、適切な調査判断をして、結果を期限内にまとめて報告した(反復性を要する)。
7. クリアランスのために対象製品等の調査内容及び範囲を把握し、適切な調査手法を採用し、適切な調査判断をして、結果を期限内にまとめて報告した(反復性を要する)。
8. 競合他社の新着公報(登録公報等)を監視した(反復性を要する)。
9. 自社及び他社の意匠情報を収集し、作成内容及び範囲を把握し、適切な作成ツールを利用して加工し、期限内にデザインマップを作成した(反復性を要する)。

③重要性

④社内外貢献

以下のいずれかに相当する実績/経験を有する。

1. 質問に対して適切な回答/助言を行った。
2. 自己の担当業務のマニュアル化を行った。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

①事業

自己の業務の企業戦略/事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解している。

②法律

1. デザイン創造支援業務に必要な知的財産関連法律(例:意匠権等)・法改正情報・判例の初歩的な事項(例:入門書レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決できる。

③実務

1. デザイン創造支援に関する実務(例:審査基準、意匠データベース、デザインマップ、自社/他社製品の過去のデザイン)の初歩的な事項(例:特に重要なもののみ、実務全体の20~30%程度)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決できる。

④技術

⑤語学

外国語(例:英語)の情報を最低限の範囲で(例:50%程度)理解することができる。

⑥対人

1. 関係者(例:開発部門)から円滑に情報収集ができる(例:創作者の意図を引き出せる)。
2. 関係者(例:開発部門)の説明を正しく理解することができる。
3. 関係者(例:開発部門)と連携し、協働できる。
4. 関係者に分かりやすく説明できる(例:専門用語を分かりやすく説明できる)。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

創造支援(2. 2. 3) D.デザイン創造支援

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

担当者として対応

②複雑性

以下のいずれかを上司の指導の下で(一部は自律的に)、複数回実行した実績／経験を有する。(結果への寄与度20%以上)

1. 特定のテーマについて、意匠出願戦略(例:特定の分野における意匠群の形成方針)の立案を成功裡に行った。
2. 意匠出願戦略に従って、デザイン開発部門に密着してデザイン発掘を企画／実施(作者の確定作業も含む)／評価を成功裡に行った。
3. 意匠出願戦略に対する現状分析／改善を成功裡に行った。
4. デザイン開発部門に対して特定のテーマに沿った適切な先行意匠情報を提供し、デザイン開発活動を後方から支援した。
5. 意匠出願戦略に従って、出願をするか否かの適切な判定を行った(反復性を要する)。
6. 公知例等の先行資料調査のために対象デザインの調査内容及び範囲を把握し、適切な調査手法を採用し、適切な調査判断をして、結果を期限内にまとめて報告した(反復性を要する)。
7. クリアランスのために対象製品等の調査内容及び範囲を把握し、適切な調査手法を採用し、適切な調査判断をして、結果を期限内にまとめて報告した(反復性を要する)。
8. 競合他社の新着公報(登録公報等)を監視した(反復性を要する)。
9. 自社及び他社の意匠情報を収集し、作成内容及び範囲を把握し、適切な作成ツールを利用して加工し、期限内にデザインマップを作成した(反復性を要する)。

③重要性

④社内外貢献

以下のいずれかに相当する実績と経験を有する。

1. 後輩(例:レベル1～2)に対する育成指導／助言を行った。
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 自己の担当業務のマニュアル化を行った。
4. 社内講師を担当した。
5. 社内委員会にメンバーとして参加した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

①事業

1. 自己の業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解している。
2. 担当業務に関連する基本的な自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。

②法律

1. デザイン創造支援業務に必要な知的財産関連法律(例:意匠権等)・法改正情報・判例の基本的な事項(例:基本書レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決でき、一部は自律的に解決できる。

③実務

1. デザイン創造支援に関する実務(例:審査基準, 意匠データベース, デザインマップ, 自社／他社製品の過去のデザイン)の基本的な事項(例:重要なもののみ、実務全体の40～50%程度)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、上司の指導の下でその課題を解決でき、一部は自律的に解決できる。

④技術

⑤語学

外国語(例:英語)の情報を最低限の範囲で(例:50%程度)理解することができる。

⑥対人

1. 関係者(例:開発部門)から円滑に情報収集ができる(例:創作者の意図を引き出せる)。
2. 関係者(例:開発部門)の説明を正しく理解することができる。
3. 関係者(例:開発部門)と連携し、協働できる。
4. 関係者に分かりやすく説明できる(例:専門用語を分かりやすく説明できる)。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

創造支援(2. 2. 3) D.デザイン創造支援

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

(部分的な)主担当者として対応

②複雑性

以下のいくつかを自立的に、複数回実行した実績／経験を有する。(結果への寄与度30%以上)

1. 特定のテーマについて、意匠出願戦略(例:特定の分野における意匠群の形成方針)の立案を成功裡に行った。
2. 意匠出願戦略に従って、デザイン開発部門に密着してデザイン発掘を企画／実施(創作者の確定作業も含む)／評価を成功裡に行った。
3. 意匠出願戦略に対する現状分析／改善を成功裡に行った。
4. デザイン開発部門に対して特定のテーマに沿った適切な先行意匠情報を提供し、デザイン開発活動を後方から支援した。
5. 意匠出願戦略に従って、出願をするか否かの適切な判定を行った(反復性を要する)。
6. 公知例等の先行資料調査のために対象デザインの調査内容及び範囲を把握し、適切な調査手法を採用し、適切な調査判断をして、結果を期限内にまとめて報告した(反復性を要する)。
7. クリアランスのために対象製品等の調査内容及び範囲を把握し、適切な調査手法を採用し、適切な調査判断をして、結果を期限内にまとめて報告した(反復性を要する)。
8. 競合他社の新着公報(登録公報等)を監視した(反復性を要する)。
9. 自社及び他社の意匠情報を収集し、作成内容及び範囲を把握し、適切な作成ツールを利用して加工し、期限内にデザインマップを作成した(反復性を要する)。

③重要性

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 効果が実際に確認された(例:立案した意匠出願戦略が採用され実行された、全社的に重要なプロジェクトで創造支援し、そのデザイン群により競合他社の模倣防止やライセンス等の成果を挙げた、開発源段階のコンセプトの重要性を発見し、その意匠群により後に競合他社の模倣防止やライセンス等の成果を挙げた、デザイン動向のウォッチからそれに見合うデザインマップを形成し自社の事業成長に貢献した)。**[必須]**
2. 成果が最終的には経営層に参照されるに至った。
3. 主力製品／特定のテーマ(将来のものを含む)について行った。

④社内外貢献

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 後輩(例:レベル2～3)に対する育成指導／助言を行った。
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 自己の担当業務のマニュアル化を行った。
4. 社内講師を担当した。
5. 社内委員会にメンバーとして参加した。
6. 社外講習会(例:大学・企業向けセミナー・企業間勉強会等)で講師を担当した。
7. 社外委員会にメンバーとして参加した。
8. 担当業務に関して業界全体のレベル向上に資する論文を執筆した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

①事業

1. 自己の業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解しており、他者に説明することができる。
2. 担当業務に関連する主要な自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。

②法律

1. デザイン創造支援業務に必要な知的財産関連法律(例:意匠権等)・法改正情報・判例の専門的な事項(例:専門書／専門雑誌レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、解決することができる(他者との適切な連携を通じて解決できる場合を含む)。

③実務

1. デザイン創造支援に関する実務(例:審査基準, 意匠データベース, デザインマップ, 自社／他社製品の過去のデザイン)の専門的な事項(例:実務全体の60～70%程度)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題を発見し、解決することができる(他者との適切な連携を通じて解決できる場合を含む)。

④技術

⑤語学

外国語(例:英語)の情報を概ね(例:60～70%程度)理解することができる。

⑥対人

1. 関係者(例:開発部門)から円滑に情報収集ができる(例:創作者の意図を引き出せる)。
2. 関係者(例:開発部門)の説明を正しく理解することができる。
3. 関係者(例:開発部門)と連携し、協働できる。
4. 関係者に分かりやすく説明できる(例:専門用語を分かりやすく説明できる)。
5. 関係者(例:開発部門)を納得させることができる。
6. 関係者(例:開発部門)から信頼される。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

創造支援(2. 2. 3) D.デザイン創造支援

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

指導者兼主担当者として対応

②複雑性

以下のいくつかを主導的に、複数回実行した実績／経験を有する。(結果への寄与度40%以上)

1. 特定のテーマについて、意匠出願戦略(例:特定の分野における意匠群の形成方針)の立案を成功裡に行った。
2. 意匠出願戦略に従って、デザイン開発部門に密着してデザイン発掘を企画／実施(创作者の確定作業も含む)／評価を成功裡に行った。
3. 意匠出願戦略に対する現状分析／改善を成功裡に行った。
4. デザイン開発部門に対して特定のテーマに沿った適切な先行意匠情報を提供し、デザイン開発活動を後方から支援した。
5. 意匠出願戦略に従って、出願をするか否かの適切な判定を行った(反復性を要する)。
6. 公知例等の先行資料調査のために対象デザインの調査内容及び範囲を把握し、適切な調査手法を採用し、適切な調査判断をして、結果を期限内にまとめて報告した(反復性を要する)。
7. クリアランスのために対象製品等の調査内容及び範囲を把握し、適切な調査手法を採用し、適切な調査判断をして、結果を期限内にまとめて報告した(反復性を要する)。
8. 競合他社の新着公報(登録公報等)を監視した(反復性を要する)。
9. 自社及び他社の意匠情報を収集し、作成内容及び範囲を把握し、適切な作成ツールを利用して加工し、期限内にデザインマップを作成した(反復性を要する)。

③重要性

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 複数の効果が実際に確認された(例:立案した意匠出願戦略が採用され実行された、全社的に重要なプロジェクトで創造支援し、そのデザイン群により競合他社の模倣防止やライセンス等の成果を挙げた、開発源流段階のコンセプトの重要性を発見し、その意匠群により後に競合他社の模倣防止やライセンス等の成果を挙げた、デザイン動向のウォッチからそれに見合うデザインマップを形成し自社の事業成長に貢献した)。**[必須]**
2. 成果が最終的には経営層に参照されるに至った。
3. 主力製品／特定のテーマ(将来のものを含む)について行った。

④社内外貢献

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 後輩(例:レベル3～4)に対する育成指導／助言を行った。**[必須]**
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 自己の担当業務分掌のマニュアル化を推進した。
4. 社内講師を担当した。
5. 社内委員会を主導した。
6. 社外講習会(例:大学・企業向けセミナー・企業間勉強会等)で講師を担当した。
7. 社外委員会に会社代表として参加した。
8. 担当業務に関して業界全体のレベル向上に資する論文を執筆した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

①事業

1. 自己の所掌業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解しており、他者に説明することができる。
2. 所掌業務に関連する自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。
3. 所掌業務の経営・事業に与える影響(リスク)を自ら予測・分析し、客観的に説明できる。

②法律

1. デザイン創造支援業務に必要な知的財産関連法律(例:意匠権等)・法改正情報・判例の専門的な事項(例:専門書／専門雑誌レベル)を理解している。
2. 前記に関連する業務上の課題の発見と解決を主導し、下位のレベル者に対して指導ができる。

③実務

1. デザイン創造支援に関する実務(例:審査基準, 意匠データベース, デザインマップ, 自社／他社製品の過去のデザイン)の専門的な事項(例:実務全体の80%程度)を理解し、過去に類例のないケースにも応用／展開することができる。
2. 前記に関連する業務上の課題の発見と解決を主導し、下位のレベル者に対して指導ができる。

④技術

⑤語学

外国語(例:英語)の情報を正しく(例:80%程度)理解することができる。

⑥対人

1. 関係者(例:開発部門)から円滑に情報収集ができる(例:创作者の意図を引き出せる)。
2. 関係者(例:開発部門)の説明を正しく理解することができる。
3. 関係者(例:開発部門)と連携し、協働できる。
4. 関係者に分かりやすく説明できる(例:専門用語を分かりやすく説明できる)。
5. 関係者(例:開発部門)を納得させることができる。
6. 関係者(例:開発部門)から信頼される。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。

創造支援(2. 2. 3) D.デザイン創造支援

業績評価指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

総括責任者として対応

②複雑性

以下のいくつかに関する経営上の課題について、多角的な視点で様々な解決策の提案を複数行った実績／経験を有する。(結果への寄与度50%以上)

1. 特定のテーマについて、意匠出願戦略(例:特定の分野における意匠群の形成方針)の立案を成功裡に行った。
2. 意匠出願戦略に従って、デザイン開発部門に密着してデザイン発掘を企画／実施(创作者の確定作業も含む)／評価を成功裡に行った。
3. 意匠出願戦略に対する現状分析／改善を成功裡に行った。
4. デザイン開発部門に対して特定のテーマに沿った適切な先行意匠情報を提供し、デザイン開発活動を後方から支援した。
5. 意匠出願戦略に従って、出願をするか否かの適切な判定を行った(反復性を要する)。
6. 公知例等の先行資料調査のために対象デザインの調査内容及び範囲を把握し、適切な調査手法を採用し、適切な調査判断をして、結果を期限内にまとめて報告した(反復性を要する)。
7. クリアランスのために対象製品等の調査内容及び範囲を把握し、適切な調査手法を採用し、適切な調査判断をして、結果を期限内にまとめて報告した(反復性を要する)。
8. 競合他社の新着公報(登録公報等)を監視した(反復性を要する)。
9. 自社及び他社の意匠情報を収集し、作成内容及び範囲を把握し、適切な作成ツールを利用して加工し、期限内にデザインマップを作成した(反復性を要する)。

③重要性

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 複数の経営に資する効果が実際に確認された(例:立案した意匠出願戦略が採用され実行された、全社的に重要なプロジェクトで創造支援し、そのデザイン群により競合他社の模倣防止やライセンス等の成果を挙げた、開発源流段階のコンセプトの重要性を発見し、その意匠群により後に競合他社の模倣防止やライセンス等の成果を挙げた、デザイン動向のウォッチからそれに見合うデザインマップを形成し自社の事業成長に貢献した)。**[必須]**
2. 成果が最終的には経営層に参照されるに至った。
3. 主力製品／特定のテーマ(将来のものを含む)について行った。

④社内外貢献

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

1. 後輩(例:レベル4～5)に対する育成指導／助言を行った。**[必須]**
2. 質問に対して適切な回答／助言を行った。
3. 社内講師を担当した。
4. 社内委員会を主導した。
5. 社外講習会(例:大学・企業向けセミナー・企業間勉強会等)で講師を担当した。
6. 社外委員会に主査的立場で参加した。
7. 担当業務に関して業界全体のレベル向上に資する論文を執筆した。

⑤その他

業務遂行能力評価指標

以下の条件の能力を有する。(⑤は任意)

①事業

1. 自己の所掌業務の企業戦略／事業戦略等の中での位置づけ(他社動向の把握を含む)を理解しており、他者に説明することができる。
2. 所掌業務に関連する自社の方針(ポリシー)・社内手続を理解している。
3. 所掌業務の経営・事業に与える影響(リスク)を自ら予測・分析し、客観的に説明できる。
4. 所掌業務の経営上の課題を発見し、あるいはその課題に対して多角的な視点で様々な解決策の提案ができる。

②法律

1. デザイン創造支援業務に必要な知的財産関連法律(例:意匠権等)・法改正情報・判例の専門的な事項(例:専門書／専門雑誌レベル)又は広範かつ統合的な事項(例:専門性は必ずしも深くないが幅広い理解力があり全体を俯瞰することができるレベル)を理解している。
2. 前記に関連する経営上の課題を発見し、あるいはその課題に対して多角的な視点で様々な解決策の提案ができる。

③実務

1. デザイン創造支援に関する実務(例:審査基準、意匠データベース、デザインマップ、自社／他社製品の過去のデザイン)の高度に専門的な事項(例:実務全体の90%程度)又は広範かつ統合的な事項(例:専門性は必ずしも深くないが幅広い理解力があり全体を俯瞰することができるレベル)を理解し、過去に類例のないケースにも応用／展開することができる。
2. 前記に関連する経営上の課題を発見し、あるいはその課題に対して多角的な視点で様々な解決策の提案ができる。

④技術

⑤語学

外国語(例:英語)の情報を正しくかつ迅速に(例:90%程度)理解することができる。

⑥対人

1. 関係者(例:開発部門)から円滑に情報収集ができる(例:创作者の意図を引き出せる)。
2. 関係者(例:開発部門)の説明を正しく理解することができる。
3. 関係者(例:開発部門)と連携し、協働できる。
4. 関係者に分かりやすく説明できる(例:専門用語を分かりやすく説明できる)。
5. 関係者(例:開発部門)を納得させることができる。
6. 関係者(例:開発部門)から信頼される。

⑦その他

複数の業務に適切な優先順位をつけて限られた時間を有効に活用して業務を遂行できる。